



## 年度末に向けた計画的な研究費執行をお願いします

新年となり、2023年度も残すこと2か月になりました。多くの研究費は年度ごとの執行が求められています。年度末に向けた計画的な研究費執行をお願いします。

### ■冬期休暇中の出張の精算について

冬期休暇以降に出張を予定されている先生方は、出張前のお出張命令決裁書の提出や出張後の出張報告書・出張証明の資料の提出等、すみやかな手続きをお願いします。



### ■請求書、領収書等証憑の提出期限について

一部の研究費を除いて、2023年度予算の証憑提出は以下の期日になりますので、提出期日の厳守をお願いします。研究遂行上、この期日をこえた提出になる場合は、支出予定の予算を担当している各リサーチオフィスの経理担当者に、必ず事前にご相談ください。

**請求書・領収書等証憑提出締切:2024年3月1日(金)**



### ■研究予算管理システム (BCM) について

(1)研究者による試験利用を行いました。

第7回研究委員会において、4月より運用を開始する研究予算管理システム(BCM)の研究者による試験利用を提案し、2023年12月18日(月)～2024年1月14日(日)の期間で行いました。研究費の種類、過年度執行内容をふまえ、研究者や研究補助(教員秘書)の方にご協力をいただきました。ありがとうございました。

(2)パブリックコメント送信フォームの設置

研究委員会の中で、パブリックコメント等を通じて先生方のご意見を伺う機会、それに応える仕組みを設けるようご要望をいただきました。

先生方からのご意見をいただく中で、システム改修を要するものも出てくると考えます。

BCM専用のパブリックコメント送信フォームを設置しましたので、ご意見・ご要望のある場合は、以下のURLよりご意見をお寄せください。

<https://forms.office.com/r/d4FqPsBZ4N>

研究予算管理システム (BCM)  
パブリックコメント送信フォーム



## 他大学で実際に発生した不正事案について

文部科学省のホームページでは、実際に発生した不正事案の概要が公開されています。  
([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kansa/houkoku/1364929.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1364929.htm))。  
昨年度の報告として7件ありましたが、そのうちの1件をご紹介します。



不正の種別	架空請求(カラ謝金)、還流行為
不正が行われた年度	2010年度
不正に支出された研究費額	102,000円
不正に関与した研究者数	1名
動機、背景	<p>当該教員は、この勤務報告書に実態のない勤務記録を記入し、大学に対して架空請求を行った。また、大学からA氏の口座にアルバイト代が振り込まれた後、当該教員はA氏にメールまたは口頭で指示して指定する金額を現金で研究室に持参させ、これを徴収するという還流行為を行った。</p> <p>当該教員は、A氏に対して実質的に研究指導を行う立場にあり、かつ、同人の研究室内での位置づけやその後の博士後期課程への進学等に関して大きな影響力を持っていた。当該教員はこの立場上の優位性に基づいてA氏を利用し、研究費に関する不正行為を行った。</p>
発生要因	<p>本事案は、文部科学省ガイドライン改正によって各研究機関にコンプライアンス教育および研究倫理教育が義務付けられた時期以前に生じた事案ではあるが、当該教員は、2010年度時点において公的研究費の適切な支出と不正な支出について正しい認識を有していたことがうかがえた。そうであるにもかかわらず、不正と認識しながら架空請求と還流行為を行った。</p> <p>また、教育研究活動の活発化に伴って研究補助者やティーチングアシスタント等の臨時雇用者が増加する一方で、大学全体として採用から雇用契約に至る手続きを十分に整備できておらず、臨時雇用者の契約情報や勤務情報の一元管理もできていないという問題があった。</p>

本件は、過去に遡って不正事案として認定された案件です。このように不正使用が調査されるのは直近の研究費と限ったわけではありません。本件も、文部科学省に対して不正使用に関する通報があり、調査の結果発覚した案件になります。また、発生要因にもあるように、研究者だけではなく、研究機関としての管理不備も指摘されています。

本大学における研究費の適正執行の考え方や研究費執行の様々な手続きについては、「研究費執行ガイドブック」をご確認ください。

### ニューズレターの発行

このニューズレターは啓発活動の一環として年4回発行し、他機関を含む不正使用事案とその発生要因の共有、内部監査や証憑点検における指摘事項など、研究費の適正な執行のための情報を定期的に発信配信していく予定です。  
次回は2024年3月発行の予定です。



立命館大学 研究部  
〈BKCリサーチオフィス〉  
滋賀県草津市野路東 1-1-1